

シンポジウム 1

これからの時代の退院計画と地域医療連携

—退院計画と地域医療連携の重要性—

座長 大木 崇

第59回国立病院総合医学会
(平成17年10月15日 於広島)

IRYO Vol. 61 No. 4 (240-241) 2007

要 旨

わが国の医療改革が急速に進む中で、これからの退院計画と地域医療連携を効率よく実行することはきわめて重要である。しかしながら、これらの課題をすべて包括的に議論することは適切ではない。本シンポジウムでは、1) 急性期、亜急性期および慢性期医療、2) 病院、診療所、介護施設および地元医師会との医療連携、3) 医師、看護師およびソーシャルワーカーとのチーム連携をキーワードとして、地域における医療資源の効率的活用と、それに基づく質の高い医療の構築について議論した。

これらの討論の中で、「医療費抑制」の時代における地域医療は、医療従事者個々の経営体系から脱却し、医療への患者参加、さらには国民に対する説明責任とその評価を基盤とした連携の仕組みを構築することが不可欠であるとの結論に達した。

キーワード 地域医療、退院計画、ネットワーク

解 説

近年、国の基本的方針として、財政優先の医療政策が重視されており、その結果、従来の医療提供体制の改革が余儀なくされている。このような状況下において、医療の質の担保、国民皆保険制度の維持、などの問題を考慮する場合、患者に対する医療をできるだけ効率よく、かつ満足度の高い内容にするためには、無駄のない退院計画と地域医療連携の充実を図る必要がある。

医療環境の変化および多様化にともない、1つの医療機関で予防、急性期、回復期および慢性期医療、介護の各分野を完結させることは至難の業である。地域の医療資源を効率よく活用するためには、自己完結型ではなく各医療機関の機能分担と相互連携を軸とした地域完結型連携が不可欠となってきた。

このような観点で地域医療のマネジメントを考える場合、紹介率よりも診療機能を重視すべきであり、総論で議論する連携よりも各論を基盤とした具体的な連携を、また医療提供側ではなく患者の視点に立った連携をめざすべきである。さらに連携システムを機能的に構築するためには、地域における競争から協調へ、すなわち連携の基本姿勢は病院・診療所・介護施設間の相互信頼が最も重要である。具体的には共同診察カード（患者登録制度）、病床・医療機器の共同使用、地域参加型の講習会・症例検討会なども視野に入れるべき事項であり、これらの努力が結果として地域全体の「医療の質と安全」の向上につながるものと思われる。

近年、地域医療を支える地方の公的病院の勤務医不足がきわめて深刻な状況にあるのは周知である。さらに、国のある面強引とも思われる医療政策が現

国立病院機構東徳島病院 院長

別刷請求先：大木 崇 国立病院機構東徳島病院 院長 〒779-0193 徳島県板野郡板野町大寺字大向1-1

(平成18年3月29日受付、平成18年6月16日受理)

Report from Annual Meeting: Symposium 1: Future Discharge Plans and Linking of Regional Medical Services: Importance of Discharge Plans and Linking of Regional Medical Services Takashi Oki

Key Words: regional medical services, discharge plans, network

在の病院間格差や地域間格差を急速に拡大させ、結果としてわが国の医療体制が崩壊する危機に直面している。このような状況下においては、今後、地域医療体制の地殻変動は不可避であり、大（中）病院の集約化・拠点化、診療機能の特化・連携、急性期医療の高度化、中小病院の多角化、さらには医療のサービス産業化や医療従事者の人材の確保などが加速化するであろう。

現時点で最も重要なことは、社会全体あるいは国

民にわが国の医療の現状を正確に伝えることにより、最も合理的な医療提供体制のグランドデザインを明確にすることであり、度重なる診療報酬の改定と単純な視点での医療費抑制に踊らされて一喜一憂し、地域医療連携の形態を猫の目のように変化させることは愚の骨頂である。今こそ、医療従事者、国民（患者）および国が一体となって、患者にとって真の利益となる医療体制、すなわち地域医療連携を確立すべきであると考える。

Report from Annual Meeting : Symposium 1
Future Discharge Plans and Linking of Regional Medical Services
: Importance of Discharge Plans and Linking of Regional Medical Services

Chairperson : Takashi Oki

As medical reform in Japan progresses rapidly, efficient execution of discharge plans and linking of regional medical services will become extremely important in the future. However, it is not appropriate to evaluate all these problems in a single framework.

In this symposium, the effective use of regional medical resources and the establishment of high-quality medical services were discussed, using the following key words : 1) medical care for the acute, subacute, and chronic phases, 2) network among hospitals, clinics, care facilities, and regional medical associations, and 3) teamwork among physicians, nurses, social workers, and other medical staffs concerned.